

中村 桂子氏 特別講演

（J T 生命誌研究館名誉館長）

生きものとして生きることの大切さ ～コロナ禍と異常気象を踏まえて～



【プロフィール】

生命誌研究者。1964年東京大学大学院生物化学修了。理学博士。国立予防衛生研究所研究員、三菱化成生命科学研究所人間・自然研究部長、早稲田大学人間科学部教授、大阪大学連携大学院を創設し教授などを歴任。1993年にJ T 生命誌研究館副館長となり、2002年館長。現在、同館名誉館長。著書に、『自己創出する生命』（ちくま学芸文庫）、『生命誌とは何か』（講談社学術文庫）、『科学者が人間であること』（岩波新書）、『「ふつうのおんなの子」のちから』（集英社クリエイティブ）ほか多数。

私たち人間は生きものです。この子どもでもわかるあたりまえのことを今どうしても考えたいのは、現代社会が、生きものとして生きることを大切にしていなからです。どんな生き方を求めているかと考えると、「機械のように」と言ったらよいでしょうか。一例をあげます。「早く、早く」。お母さんが子どもによく言います。ゆっくり、楽しみながら過ごしましょうね。生きていることを大切にしたらこう言うでしょう。「生命誌」という生きものが38億年かけて生きてきた歴史物語を読み解いてきた立場から、生きものとして生きることの大切さを語ります。

日時

2022年1月21日（金）

14:00～16:00 ※受付13:30

会場

千葉文化センター3階
アートホール

定員

150名（事前申込先着順）

参加
無料

申込・問い合わせ

千葉市生涯現役応援センター

TEL (043) 256-4510

月～金 9:00～17:00（土日祝：休）

千葉市文化センター



- 千葉市文化センター
千葉市中央区中央2-5-1
043-224-8211
- ・JR総武線千葉駅、京成千葉線
千葉中央駅より徒歩10分
- ・千葉都市モノレール葭川公園駅
下車徒歩3分

●新型コロナウイルス感染症対策について

当日は新型コロナウイルス感染症対策を施し実施致します。ご参加される皆様におかれましても、以下の感染症対策ご協力下さいますようお願い申し上げます。マスクの着用、咳エチケットの徹底、こまめな手洗い、手指消毒の徹底。

●下記に当てはまる場合はご参加いただけません

- ・当日に風邪症状がある場合、体調不良の場合
- ・2週間以内に発熱や風邪症状で受診や服薬をした場合
- ・2週間以内に新型コロナウイルス感染症に感染している、もしくは感染が疑われる症状のある人との接触があった場合



千葉市生涯現役応援センターとは シニアの皆様が、働きたい！ボランティアしたい！など、社会参加されたいときのお手伝いをするために、千葉市が設置した総合相談窓口です。当センターでは、シニアの皆様が生涯現役でいきいきとご活躍いただけるよう、さまざまな相談や情報提供、紹介などを行っています。

- 開所時間 : 月～金曜日（祝日、年末年始を除く）9:00～17:00
- ご利用者 : 本市内における就労・社会参加を希望する概ね60歳以上の方
- サービス内容 : 就労・ボランティア・地域活動における各種情報提供並びに相談。資料の閲覧コーナーあり
- 場 所 : 稲毛区役所2階

千葉市生涯現役応援センター

TEL(043)256-4510 FAX(043)256-4507

月～金 9:00～17:00

(土日祝:休)